

# フェアトレードを考えるシンポジウム

## フェアトレードに着目した開発途上国の貧困地域における産業開発

開発途上国の経済・社会開発への自助努力を支援する活動が、

民間団体、政府機関、企業などの様々な立場によって取り組まれています。

これらの支援が行われている地域においては、海外からの資金援助および

支援団体との協働によって産業を起し、その後住民自らの力で持続的に

運営を発展させるモデル事業が取り組まれているケースが多い傾向にあります。

これは、例えばフェアトレード産業では、開発された製品が国内のみならず、

世界各国への輸出が試みられています。

持続的に現地の産業を継続させるには、生産者側ばかりが製品の提供努力をしても、

消費者側に多様な受け皿がなければ、継続困難となります。特にフェアトレードでは、

販売ルートの開拓から、商品の輸出、商取引に至るまで多くの課題があります。

本シンポジウムでは、フェアトレードに関わる、さまざまな立場の方々から事例を

ご紹介いただくことによって、文教大学の学生と共にこの課題を考える機会を持ちます。

### 報告者

イオントップバリユ株式会社 岡村幸代さん

バリ・バイオダイバーシタス財団

イ・デワ・マデ・オカさん

バリ・バイオダイバーシタス財団

イ・ワヤン・アグース・スサンタさん

NPO法人ハロハロ

成瀬悠さん

進行 文教大学国際学部 黛陽子



**入場無料**

主催：文教大学国際学部

お問い合わせ 文教大学国際学部対外活動委員会

黛 mayuzumi@shonan.bunkyo.ac.jp / 渡邊 watanabe@shonan.bunkyo.ac.jp

文教大学 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100 電話：0467-53-2111(代表)

2013.12/9 (月)

11:00~13:00

文教大学湘南キャンパス

1301教室